

教科	工業	科目	繊維・染色技術	単位数	2単位
学科	繊維デザイン科	学年	2学年		
学習目標	繊維製品の製造技術と染色技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を養う。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	<p>〈染色技術〉</p> <p>第4章 染色の基礎化学</p> <p>1 炭素化合物 炭素の特性、炭化水素の分類 鎖式炭化水素、環式炭化水素 官能基をもつ有機化合物</p> <p>2 染色の物理化学 染色現象、繊維と染料間の結合 染着曲線、染色堅ろう度</p> <p>第3章 素材</p> <p>1 テキスタイル素材</p> <p>2 色素材料</p> <p>〈繊維技術〉</p> <p>第3章 織物の製造</p> <p>1 織物製造の基礎 織機の概要 織物製造工程</p> <p>2 製織の準備</p> <p>3 開口運動 開口運動の種類と状態 タペット式開口運動 ドビー式開口運動 ジャガード式開口運動</p> <p>4 よこ入れ運動 よこ入れ運動の方法と種類 シャトル織機 シャトルレス織機</p> <p>5 箆打ち運動 クランク式箆打ち カム式箆打ち 特殊箆打ち</p> <p>6 その他の運動および装置</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・染色加工における染色の基礎化学を理解するとともに炭素化合物の特性を理解している。 【A・B・D】 ・染色の物理化学である染色現象を理解して、染色がどのような物理化学から成り立っているかを理解している。【B・D】 ・着色されるテキスタイル素材や色素材料の基本的性質や化学構造を理解している。 【A・B・D】 ・織物製造においてたて糸とよこ糸がどのように交錯して織物が構成されているかを理解している。【A・B・C・D】 ・織機の各部分の名称を確認し、各部分で行われている運動の役割を理解している。【B・D】 ・織機の主運動である開口・よこ入れ・箆打ちのそれぞれの運動の役割を理解するとともに、それぞれの運動について詳しく学習し、様々な方法で運動が行われていることを理解している。 【B・D】 		
評価の観点	【A】関心・意欲・態度 【B】思考・判断・表現 【C】技能 【D】知識・理解				
評価方法	定期考査、小テスト、出席状況、課題、授業態度・意欲による総合評価				
教科書等	新版カラーリング技術（実教出版）、新版テキスタイル技術（実教出版）				
備考	この科目は2～3学年で学習する。2名の指導者により分野ごとに分け、指導する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。